

特許検索事例研究会 ～拒絶理由に学ぶ特許検索式の立案ノウハウ～

「演習問題 1：ネイルパーツ」の事例解説

1. 演習問題 1 の内容

演習問題 1 の題材公報は「[特開 2018-075465](#)：ネイルパーツ」です。この特許出願の請求項 1 の新規性を確認するための検索式を検討してください。

【発明の名称】ネイルパーツ

【要約】【課題】爪又は人工爪からの着脱が簡便に可能で、また、容易に脱落してしまわないネイルパーツを提供することにある。

【解決手段】爪又は人工爪に予め固定又は接着する爪側固定部材と、装飾物であり、装飾をなす部分の爪又は人工爪側に、爪側固定部材に嵌合するネイルパーツ側固定部を有するネイルパーツ本体を備え、爪側固定部材とネイルパーツ本体のネイルパーツ側固定部とが嵌合することにより、ネイルパーツ本体が、爪側固定部材を介して、爪又は人工爪に着脱自在に固定されることを特徴とする。

【請求項 1】

人の手足の爪又は人工爪に着脱自在な装飾物であるネイルパーツにおいて、
該爪又は該人工爪に予め固定又は接着する爪側固定部材と、
該装飾物であり、装飾をなす部分の該爪又は該人工爪側に、該爪側固定部材に嵌合するネイルパーツ側固定部を有するネイルパーツ本体を備え、
該爪側固定部材と該ネイルパーツ本体の該ネイルパーツ側固定部とが嵌合することにより、該ネイルパーツ本体が、該爪側固定部材を介して、該爪又は該人工爪に着脱自在に固定されることを特徴とするネイルパーツ。

そして、拒絶理由の中で、【請求項 1】の新規性を否定するとして示された引用文献が 1 件ありました。

引用文献：[登録実用新案第 3 1 4 7 8 7 9 号](#)

<拒絶理由通知書に記載された審査官のコメント>

引用文献には、人工爪（3）に着脱自在な装飾物であるネイルパーツにおいて、人工爪に予め固定又は接着する爪側固定部材（4）と、装飾物であり、装飾をなす部分の人工爪側に、爪側固定部材に嵌合するネイルパーツ側固定部（8）を有するネイルパーツ本体（5）を備え、爪側固定部材とネイルパーツ本体のネイルパーツ側固定部とが嵌合することにより、ネイルパーツ本体が、爪側固定部材を介して、人工爪に着脱自在に固定されるネイルパーツが記載されている。

皆様は、この引用文献を抽出することができたでしょうか？ また、どのような検索戦略を立案すればヒットさせられるでしょうか？

2. 発明の認定および題材公報と引用文献との対比

まずは、調査対象とした発明の認定作業から行いましょう。

今回の調査対象となる【請求項1】は、付け爪に裝飾されるネイルパーツであり、ネイルパーツを爪に対して着脱自在にする構造が特徴となっています。ネイルパーツ側に設けたボルトと、爪側に設けたナットとを螺嵌することで、着脱自在に固定されています。

ここで、題材公報と引用文献に付与されている特許分類やキーワード表現の、一致点、相違点について確認してみましょう。図1は題材公報と引用文献の対比表です。今回は検索報告書にて「X（エックス）カテゴリ：新規性なし」として抽出された3件の公報も加えて対比してみました。

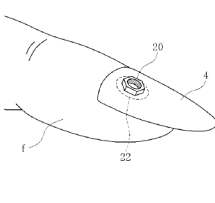
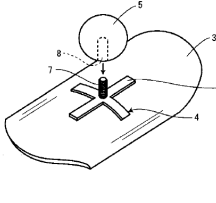
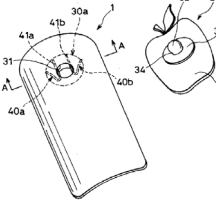
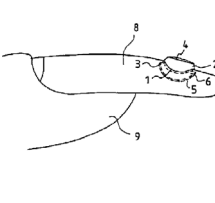
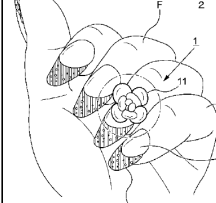
対比公報	題材公報	引用文献	検索報告書Xカテゴリ		
	特開2015-075465	登録実用3147879	特開2002-282040	特表平05-500321	特開2015-092979
図面					
F I	A44C17/02		A44C25/00Z	A44C25/00Z	
	A45D29/00				
	A45D31/00	A45D31/00	A45D31/00	A45D31/00	A45D31/00
F ターム	3B114DD01	無し	3B114DD01	3B114DD01	無し
キーワード	固定部材、 固定部、 嵌合	軸部が突設された台座、 螺子穴	取付手段	嵌め込まれる、 かみ合い係止	固着、 取り付け
	着脱	着脱	着脱、 付け替え、 係脱自在	(着脱に相当するキーワード 無し)	付け替え

図1 題材公報と引用文献の対比

特許分類について比較してみると、5件全てに共通して付与されているF Iとして「A 4 5 D 3 1 / 0 0 : 人造のつめ」が認められました。F タームについては、「3 B 1 1 4 D D 0 1 : 装身具の付ける場所が爪」が、引用文献には付与はされていませんでしたが、5件の関連公報のうち、3件の公報に付与されていました。

キーワードについては、「着脱」可能に「固定」されているという特徴を表すキーワードについて比較してみると、「固定」については、「取付」「嵌め込む」「固着」のように記載されており、5件ともバラバラな表現になっています。「着脱」については、5件中の3件で使われていましたが、他の2件には使われていませんでした。

以上の対比作業から、今回の題材については、共通性が高いF IとF タームをそれぞれ特定することと、適切な類義語を展開することがポイントであると予想されます。

皆様はどんな検索戦略で検索式を立案されたでしょうか？引用文献をヒットさせることはできたでしょうか？

3. 検索報告書からの学び

今回の題材では登録調査機関に検索外注が行われ、登録調査機関より検索報告書が作成されていました。検索報告書の中では検索論理式やスクリーニングサーチの結果について報告されているので、登録調査機関の調査員が、どのような検索アプローチを実施しているのかを確認できます。

今回の調査は国内と外国の両方の調査が行われていましたが、国内特許調査については、No. 1～8までの検索アプローチがなされていました。実際に行われた検索論理式とヒット件数を図2に示しました。

■検索論理式

年月範囲：年月日～2015年 03月 25日

【No.】	【クレームNo.】	【テーマコード】	【検索論理式】	【件数】
1	C1-C2	3B039	A45D31/00*??(ボルト+ナット+螺嵌+螺合+ねじ+ネジ+螺子)/AL	38
2	C1-C2	3B039	A45D31/00*??(装飾+宝飾+宝石+台座)/AL-¥1	294
3	C1-C2	3B039	A45D31/00-¥(1+2)	198
4	C1-C2	3B039	A45D29/00*??(装飾+宝飾+宝石+台座)/AL*??(ボルト+ナット+螺嵌+螺合+ねじ+ネジ+螺子)/AL-¥(1+2+3)	51
5	C1-C2	3B114	DD01-¥(1+2+3+4)	38
6	C2	3B114	HH00*??(ボルト+ナット+螺嵌+螺合+ねじ+ネジ+螺子)/AL-¥(1+2+3+4+5)	97
7	C2	3B114	CC15-¥(1+2+3+4+5+6)	120
8	C2	-	ナットを,5C,(接着+貼り付+貼付)/TX-¥(1+2+3+4+5+6+7)	252

※国内特許調査の検索式のみを抜粋

図2 検索報告書の検索論理式

題材公報と引用文献との対比により、共通して付与されていることが明らかになった「A45D31/00：人造のつめ」を用いた検索が、No. 1～3の3つのラインで行われています。

No. 1の検索式では指定した特許分類に対して「ボルト、ナット、ネジ、螺合」といったキーワードで絞り込みが行われています。題材公報の【請求項1】では「固定部、固定部材」と表現されていますが、実際の固定構造は「ボルト」と「ナット」を用いて固定されており、【請求項2】では固定部が「ボルト」であり、固定部材が「ナット」であると限定していることもあり、「固定部、固定部材」というキーワードは使わずに、実施例レベルのキーワードである「ボルト、ナット」という概念のキーワードを指定したと思われる

まず、先行技術調査においては、より実施例に近い公知文献を探すことを目的として、あえて上位概念のキーワードは使わずに実施例レベルのキーワードのみを使用した検索をまずは実施して、その後に上位概念のキーワードを使った検索に広げていくという展開をしても良いかと思われます。

N o. 5 の検索式では、共通して付与されていたFタームの「3 B 1 1 4 D D 0 1 : 装身具の付ける場所が爪」を用いた検索が行われています。このFタームについては、キーワードを掛け合わせた絞り込みを行わず、Fターム指定のみにて検索を行っています。

さらに、特筆したいのはN o. 8 の検索式です。N o. 8 ではF I やFタームは指定せず、キーワードのみを指定した検索式になっています。F I やFタームの付与については、付与モレや、付与間違いと思われるケースも散見されています。F I とFタームのみに依存すると、付与モレや付与間違いがあった場合には調査モレが発生してしまいます。このような調査モレをカバーするためにも、キーワードのみを使った検索式も検索アプローチに加えると調査モレのリスクを減らすことができます。

そして、スクリーニングが行われた結果を図3に示しました。「スクリーニングサーチの結果」として、国内特許調査により7件の文献が抽出され、N o. 3 として抽出された提示文献が今回の引用文献として採用されています。N o. 3 以外にも、新規性を否定できそうな代表カテゴリがX（エックス）の文献として、N o. 1、N o. 2そしてN o. 7 の3件が抽出されています。

■スクリーニングサーチの結果

【N o. 】	【提示文献の種別】	【対話型追加文献の種別】	【提示文献】	【代表カテゴリ】	【式N o. 】
1	特許文献		特開2015-092979号公報	EX	1
2	特許文献		特開2002-282040号公報	X	2
3	特許文献		登録実用新案第3147879号公報	X	1
4	特許文献		登録実用新案第3004971号公報	Y2	6
6	特許文献		特開平05-267740号公報	Y2	8
7	特許文献		特開平05-500321号公報	X	2
10	特許文献		登録実用新案第3149577号公報	A	1

※国内特許調査により抽出された文献のみを抜粋

図3 検索報告書のスクリーニングサーチの結果

提示文献N o. 1とN o. 3は、検索論理式N o. 1の検索式でヒットしていました。さらに、検索論理式N o. 2の検索式で、提示文献N o. 2とN o. 7がヒットしていることから、関連するF I を特定し、特定したF I に対して概念が異なるキーワードで複数パターンの絞り込みを行うことが重要であると気づかされました。具体的には、「A 4 5 D 3 1 / 0 0 : 人造のつめ」を特定し、絞り込みのキーワードとして、「ボルト、ナット、ネジ、螺合」という概念を掛け合わせた検索式（検索論理式N o. 1）を指定するとともに、さらに別のアプローチとして「装飾、宝飾、宝石」という取り付けられる物を表す概念を掛け合わせた検索式（検索論理式N o. 2）を並列で指定しています。

4. 実行したい検索式の具体例

今回の題材で実施できたら良いと思われる検索式の事例をご紹介します。F I を使ったラインと、F タームを使ったラインと、キーワードのみを使ったラインの3つのラインの検索式をご紹介します。

F I = A 4 5 D 3 1 / 0 0

× 名称+要約+請求項 = (着脱+脱着+付替+付け替+付換+付け換+付変+付け変+取替+取替+取換+取け換+取変+取け変+取り外+付け外)

→ヒット件数：73件 題材公報：ヒットあり 引用文献：ヒットあり

検索報告書の中の検索論理式 No. 1 では、着脱自在にするための「構造」に着目して「ボルト、ナット、ネジ、螺合」といったキーワードを採用していましたが、着脱自在にする「機能」に着目して「着脱」の概念を表すキーワードを使った検索式です。送り仮名の有無や、「替える」の同音異表記にも配慮して類義語展開を行っています。

F ターム = 3 B 1 1 4 D D 0 1

→ヒット件数：68件 題材公報：ヒットあり 引用文献：ヒットなし

共通して付与されていたFタームの「3 B 1 1 4 D D 0 1：装身具の付ける場所が爪」を用いた、Fターム指定のみの検索式です。検索報告書の中の検索論理式 No. 5 と同じです。特定した特許分類については、分類指定のみでそこそこのヒット件数に抑えられていれば、キーワードの掛け合わせによる絞り込みを行うことなく分類指定のみにとどめます。

発明の名称 = (爪+ネイル)

× 名称+要約+請求項 = (固定+嵌合+嵌着+取付+取り付+取着+取り着+装着)

× 名称+要約+請求項 = (着脱+脱着+付替+付け替+付換+付け換+付変+付け変+取替+取替+取換+取け換+取変+取け変+取り外+付け外)

× 名称+要約+請求項 = (装飾+飾り)

→ヒット件数：32件 題材公報：ヒットあり 引用文献：ヒットあり

キーワードのみを使った検索式であり、「爪」「固定」「着脱」「装飾」の4つの概念を掛け合わせています。「爪」については発明の名称に限定し、他の「固定」「着脱」「装飾」については、名称と要約と請求項の語句を対象に検索しています。

5. 今回の事例から学んだポイント

今回の演習課題への取り組みにより得られた知見をまとめます。

- (1) 上位概念ではなく実施例を見据えたキーワードを使った検索から始める。
- (2) 特許分類を使わずキーワードのみを用いた検索式を検索ラインナップに加える。
- (3) 発明の「構造」と「機能」に着目し、それぞれの概念を使った検索を行う。

特許調査を効率よく進めるためには、最も近いところから検索を始めて、得られた関連特許を見ながら、ノイズが極力含まれないように周辺へ検索範囲を拡げて行けると良いのかと思います。なお、どこまで拡げていくのか、また、どちらの方向へ拡げていくのかは、特許調査の目的により変わってくると思います。

－ 以上 －